

福井市障がい者自立支援協議会居宅生活支援部会 WGについて

① 前回の強度行動障害支援者 学習・交流会開催について

(意見)

- ・経験の浅い支援者が参加していたことに意味を感じる。また対応の助言があることも良い。
- ・各事業所で展開できることが重要。事例提供事業所の経過を聞く上では開催した効果があったと考える。

など

→WGからの参加者や、参加者からのアンケート結果は好評（前回アンケートより）

② 今後の強度行動障害支援者 学習・交流会開催について

(意見)

- ・強度行動障害支援者学習・交流会を2回実施でき、一定の評価も確認できた。ワーキングメンバーで企画を続けることということであれば、ワーキングのゴールはどこになるか。
- ・過去2回参加されたサービス事業所に声をかけて、企画に協力できないか打診してはどうか。

など

③ 今後のWGについて

(意見)

- ・ワーキングの整理整頓が必要。課題として挙げた、学びと繋がりの方は創ることができた。一旦の節目とも考えられる。
- ・強度行動障害がある方に限らず、相談支援専門員は他の難しさを感じているケースがあると想定される。頻回に行っているケースは固定メンバーでの会議となっており、新しい意見や別の角度からの意見が出にくい。協力してくれる人を招集することは考えられないか。

など

④ まとめ

方向性：強度行動障害支援者学習・交流会開催の主体性を引き継ぐ1年とする。

- ・今年度は強度行動障害支援者学習・交流会の事務局を居宅生活支援部会に置く。
 - ・今年度中に事務局を福井市基幹相談支援センターへの移行を依頼する。
 - ・強度行動障害支援者学習・交流会開催に向けた企画等の協力を、地域の関係機関へ打診する。
 - ・ワーキングは一旦の節目とし、活動を終結する。
- (複数ある、強度行動障害に関する別課題は別枠で取り組む)